

## 自動車用安全メーター（半自動）

### A : メトロノーム機能

- 使い方 ① スイッチを入れると、メトロノームが鳴ります。その吹鳴間隔は、今走って居る状態から急ブレーキで止まる際に必要な時間を示します。
- ② ですから、前車が、歩道橋など、特徴ある地点を通過してから、自車が通過する迄に、メトロノームが1回しか鳴らなければ、車間距離が短か過ぎて危険な状態です。
- 2回鳴れば、最小限の車間距離以上は取れている事を示します。
- 3回鳴れば、最小車間距離の倍以上で、リラックスした運転が出来ます。
- ③ 路面の滑り易さは、乾燥路、雨、雪、氷(ミラーバーン)の4段階に分けて、運転者が目視で判断して入力します。
- 緑のボタンを押すと歩進して、4回目で乾燥路に戻ります。
- 其れに応じて、音が変わり、乾燥路では「コン」、雨を選択すれば「ゴン」、雪では「チン」、氷は「リーン」と鳴ります。
- 一旦電源スイッチを切っても、前回の選択は記憶されて居ます。

### B : 乾燥路相当速度表示

- 使い方 ① 滑り易い路面では、カーブや車線変更時に横滑り事故の危険が増すので、上記路面の選択に応じて、横滑りの危険度が乾燥路の何キロ走行に相当するかを「乾燥路相当速度計」に表示します。
- ② ですから、100km/h で走行中、氷に切り替えれば「乾燥路相当速度計」は338km/h を示しますから、「乾燥路相当速度計」が100km/h を示すまで、速度を落せば良いのです。
- ちなみに、その際、現行の実速度計は30km/h を示します。
- ③ 「乾燥路相当速度」は、本機の画像出力端子を、赤白黄のアナログ入力端子の有る小型テレビやカーナビに繋げば表示されます。

注1：ご使用中のお車に、後付けカーナビなどの為に、スピードメーターの距離信号を外部に出すコネクタが設けられて居る場合には、ご自分でも取り付け可能ですが、ネットで購入してから、イエローハットに持参して取り付けをお願い出来る様に成って居ます。

注2：本装置に関し、下記の特許を取得済みです。

特許第5752923号 通称「メトロノーム」

特許第5396598号 通称「ストップ・ウオッチ」

特許第2727523号 通称「乾路相当速度計」

特許第3059627号 通称「プロポ・クルーズ」

注3：本装置内の計算の常数は、河原崎法律事務所がネット上に公開済みの値に準拠して居ます。

表1

1行目	実速度 km/h	100	100	100	100
2	路面状況	乾燥(D)	雨 (W)	雪 (S)	氷 (I)
3	$\mu$ (最大摩擦係数)	0.8	0.45	0.15	0.07
4	乾燥路相当速度km/h	100	133	231	338
5	横滑り危険度	1	1.8	5.3	11.4
6	制動距離 m	49.2	87.5	263	562
7	空走時間 秒	0.75	0.75	0.75	0.75
8	空走距離 m	20.8	20.8	20.8	20.8
9	緊急停止距離 m	70	108	283	583
10	メトロノーム周期 秒	2.5	3.9	10.2	21.0

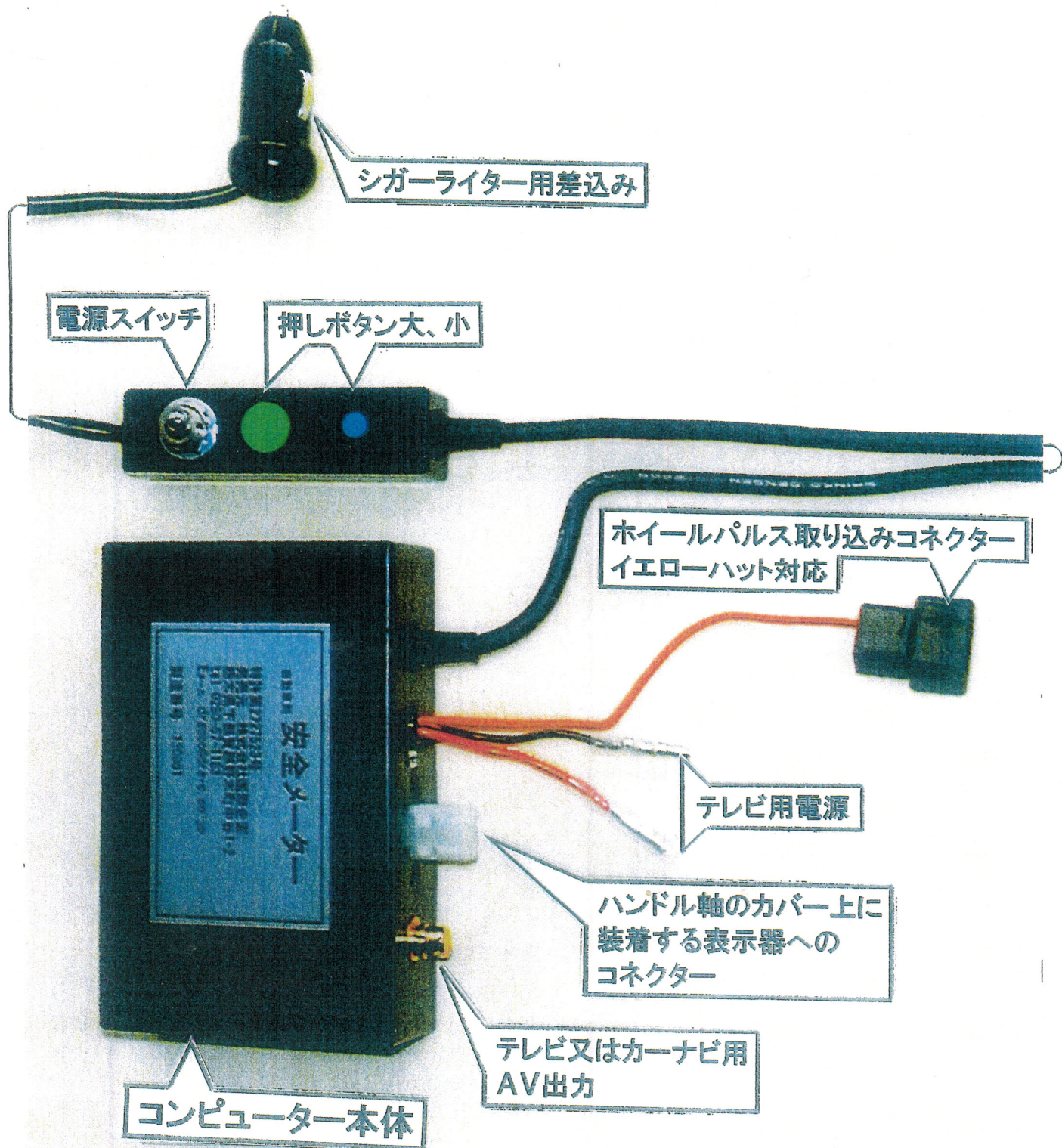
表2

1行目	乾燥路相当速度km/h	100	100	100	100
2	路面状況	乾燥(D)	雨 (W)	雪 (S)	氷 (I)
3	$\mu$ (最大摩擦係数)	0.8	0.45	0.15	0.07
4	実速度 km/h	100	75	43	30
5	横滑り危険度	1	1	1	1
6	制動距離 m	49	49	49	49
7	空走時間 秒	0.75	0.75	0.75	0.75
8	空走距離 m	20.8	15.6	9.4	6.2
9	緊急停止距離 m	70	65	58	55
10	メトロノーム周期 秒	2.5	3.1	4.8	6.4

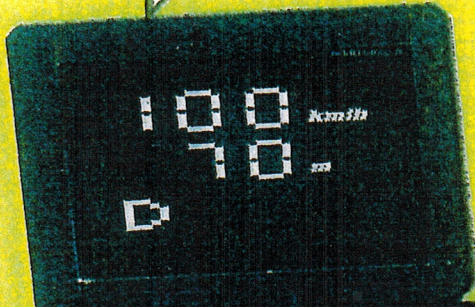
「安全メーター」の基本部分を示します。車側にAV入力端子の着いカーナビが装着されていれば、これだけで使用できます。

図 1

自動車用安全メーター 基本部分  
(特許第 2727523 号)



3.5 インチテレビ



7 インチテレビ 又は カーナビ